

2026年度

学生募集要項

一般選抜

大学入学共通テスト利用選抜



桜美林大学
J. F. Oberlin University

- この冊子の情報は2025年9月1日現在の情報に基づくもので、諸般の事情により変更になる場合があります。変更が生じた場合には、受験生サイトにて随時お知らせします。
- 選抜方式によっては募集のない学群・専修・専攻等がありますので、募集内容を確認してください。

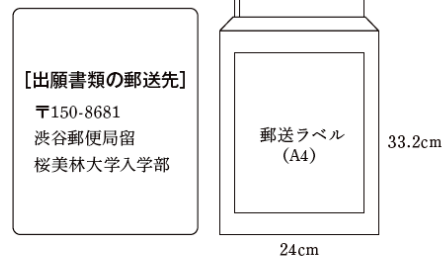
目次

I. 入試概要	3
1. 出願から入学手続きまでの流れ	3
2. 出願資格と選抜方式固有の出願条件	5
3. 入試スケジュール・会場	9
4. 募集人数	10
5. 学群併願・検定料割引・英語「みなし点」・追加判定オプション	11
II. 試験科目・出題範囲・時間割・共通テスト指定科目	16
1. 出題範囲(一般選抜)	16
2. 一般選抜(前期・中期・後期)	17
3. 一般選抜(前期)グローバル人材育成奨学生選抜について	19
4. 一般選抜(前期)地区会場一覧	21
5. 大学入学共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)	22
6. 航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースの選抜情報	28
III. 出願手続	31
1. 出願書類	31
2. 出願上の注意事項	33
3. 検定料およびフライト・オペレーションコースの2次審査費	35
4. 受験時および就学時に特別な配慮や支援が必要な方	36
IV. 試験当日	37
1. 受験票	37
2. 試験当日の注意事項	37
3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項	38
V. 合否照会・入学手続	39
1. 合否照会・合格通知・振込用紙	39
2. 追加合格・成績開示について	39
3. 入学手続等(学納金の納入について)	40
4. 入学後の渡航に関する注意事項	40
5. 学納金	41
VI. その他	43
1. アドミッションポリシー・選抜方法	43
2. 個人情報の取扱いについて	47
3. 入学後に主に通うキャンパスについて	47



5 書類を郵送

- 「インターネット出願サイト」の「マイページ」から「郵送ラベル (A4)」を印刷し、任意の角2封筒 (角型2号) に貼付して出願書類を出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください (出願締切日消印有効)。
- ④の検定料の支払いが完了していないと「郵送ラベル」は印刷できません。



インターネット上で入力しただけでは正式な出願となりません。

※登録完了後、検定料を支払い、出願書類を出願期間内に本学に郵送し、書類が受理されることで出願完了となります (出願書類の郵送は、「出願書類提出期限」の消印有効です)。余裕をもって出願してください。なお、書類に不備等があった場合は、本学から確認の連絡をいたします。

6 「受験票」の発行・確認・印刷

- 出願書類を受理した後、「インターネット出願サイト」の「マイページ」より「受験票」を発行しますので、受験番号等を確認してください。受験票の郵送はしていません。
- 「受験票」の発行日については各選抜の「出願期間等の日程」で確認してください。
- 「受験票」は印刷し、試験日に必ず持参してください (A4サイズ推奨)。



受験番号は合否照会にも必要です。印刷した「受験票」は大切に保管してください。

Step
4

試験を受験する

- Step3の⑥で印刷した「受験票」を必ず用意してください。

Step
5

合否を「マイページ」より確認する

- 合格通知の郵送は行っていません。

Step
6

入学手続 (入学金、授業料等の納入) を行う 合格者のみ

- 「マイページ」から振込用紙を印刷し、所定の期日までに入学金、授業料等を納入してください。振込用紙の郵送は行っていません。
- 入学手続締切後の手続は一切受け付けません。

問い合わせ先

入学部インフォメーションセンター
TEL : 042-797-1583

「平日」9:00~17:00 (土・日・祝・大学一斉 休暇期間 閉室)
※大学一斉休暇期間: 8月10日~8月16日、12月27日~1月6日
メール: info-ctr@obirin.ac.jp

インターネット出願で困ったら

「よくある質問」は
コチラから!



2. 出願資格と選抜方式固有の出願条件

■リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群、航空学群3コース(航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース)

出願資格1を満たす者。

なお、大学入学共通テスト利用選抜出願者は、「令和8年度大学入学共通テスト」を受験していること。

出願資格1:次の各号のいずれかに該当する者、または2026年3月31日までに該当する見込みのある者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程[文部科学大臣指定準備教育課程一覧★¹]又は研修施設[文部科学大臣指定研修施設一覧★²]の課程を修了する必要がある。)
*「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験(アメリカ合衆国のGED test等。)に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程[文部科学大臣指定準備教育課程一覧]又は研修施設[文部科学大臣指定研修施設一覧]の課程を修了する必要がある。)
*合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧★³)を修了した者
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校(我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧★⁴)を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程[文部科学大臣指定準備教育課程一覧]を修了する必要がある。)
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設[高等部を設置するもの]一覧★⁵)の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧★⁶)を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを保有する者
11. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けた教育施設(国際的な評価団体認定外国人学校について★⁷)の12年の課程を修了した者
*CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者
(なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。)
13. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

*上記13で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続きが必要です。詳しくは、P.8を確認してください。

- ★1 文部科学大臣指定準備教育課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm
- ★2 文部科学大臣指定研修施設一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm
- ★3 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm
- ★4 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm
- ★5 文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm
- ★6 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm
- ★7 国際的な評価団体認定外国人学校について
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

■航空学群3コース(航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース)の注意点

航空管制官になるためには日本国籍を有すること、また身体検査が課されます。

航空管制官を目指す者は、各自で検査を受診する等、条件の確認を行うことを推奨します。

■航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース

出願資格1(P.5掲載)および出願資格2を満たす者

出願資格2:以下(1)～(3)のすべての条件を満たす者。

なお、高等学校等卒業までに「数学Ⅱ」、「物理基礎」や「物理」の単位を修得していることが望ましい。

- (1)2025年5月1日以降に本学の指定医療機関(下記 航空身体検査 指定医療機関一覧)において航空身体検査を受診し、「第1種相当」に適合と診断された証明書の写し(コピー)を出願書類として提出できる者。
 (2)オルソケラトロジー(レーシック、PRKとは異なります)による矯正を行っていないこと。
 (3)以下①～⑪いずれかの資格を有する者(対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験したものであること。)

①実用英語技能検定2級以上または1980点以上※1

②ケンブリッジ英語検定 140点以上※2

③GTEC 930点以上※3

④TOEIC® L&R 550点以上※4

⑤TOEIC® L&RおよびS&W 790点以上※4

⑥TOEIC Bridge L&R 84点以上※4

⑦TOEIC Bridge L&RおよびS&W 170点以上※4

⑧TOEFL iBT® 42点以上※5

⑨IELTS™ 4.0以上※6

⑩TEAP 225点以上

⑪TEAP CBT 420点以上

※1「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。

※2 受験した各試験種別[ファースト(FCE)等]の合格・不合格は問わない(スコアのみを合否判定に採用)。Linguaskillは不可。

※3「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

※4 IP(Institutional Program)は不可。

※5 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。

My Best™ Scores、ITP(Institutional Testing Program)は不可。

※6 IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア(アカデミック・モジュールに限る)。

Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

航空身体検査 指定医療機関一覧

指定医療機関での受診期限は2025年5月1日(木)～12月16日(火)です。

医療機関での受診は例年大変混みあいます。そのことから上記受診期限に間に合うよう受診の予約は早めに行うようにしてください。なお、受診期限を過ぎた場合には原則出願できなくなりますが、別途相談してください。

地区		医療機関名	所在地		電話番号
関東	東京	医療法人社団東翔会 永田町つばさクリニック	〒102-0093	東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル2階	03-3511-2839
		宮入内科	〒100-0006	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3階	03-3211-4845
		医療法人財団圭友会 小原病院	〒164-0012	東京都中野区本町3-28-16	03-3372-0311
近畿	兵庫	医療法人社団東翔会 立山内科医院	〒664-0882	兵庫県伊丹市鈴原町8-67	072-781-1801
九州	福岡	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	〒802-8555	福岡県北九州市小倉北区浅野 3-2-1	093-511-2000

※いずれの医療機関も受診可能人数が限られます。受診の予約は早めに行うようにしてください。

※いかなる理由でも指定医療機関以外の受診は認めません。

個別の入学資格審査

本学では、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを判断する「個別の入学資格審査」を出願前に行います。

P.5(出願資格)のうち「個別の入学資格審査」での入学を希望する方のみ。その他の資格で出願する方の「個別入学資格の審査」は不要です。

★「個別の入学資格審査」は入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。

判定の結果「出願資格有」と認定された場合は、定められた出願期間内に所定の出願手続きをし、入学者選抜試験を受ける必要があります。なお、「個別の入学資格審査」の結果は、本学の該当する入学者選抜にのみ効力が及ぶものです。

個別の資格審査の対象となる者

以下の1.～3.のいずれかに該当する者

1. 「個別の入学資格審査」の対象となる者は、我が国において高等学校相当として指定した外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校を卒業した者、または卒業見込みの者。
2. 1.に該当しない者であって、専修学校、各種学校等における学習歴および社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、2026年3月31日までに18歳に達している者。
3. 旧制諸学校の卒業者等に準ずる者。

個別の入学資格審査の内容

申請者の学習歴、実務経験および取得している資格等を、申請された書類を基に総合的に審査し、高等学校を卒業した者(1年次入学)や14年以上の教育課程を修了した者(編入学)と同等以上の学力があると認められるかについての判定を行います。具体的には以下の事項が審査対象の内容です。

- 専修学校、各種学校等の課程の修了等の学習歴
- 社会における実務経験や取得した資格等
- 大学の科目等履修生として修得した一定の単位
- その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

提出書類

- 1.桜美林大学個別の入学資格審査申請書【様式15】
 - 2.教育施設長発行の調査書または成績証明書(厳封)
 - 3.教育施設の概要(教育施設の概要が明記されているもの)
 - 4.教育施設の規則(教科目、授業時間数および卒業要件の明記されているもの)
 - 5.教育施設の出身者進路概要(大学等進学者および就職者の人数が把握できるもの)
- ※教育施設の概要に規則や進路概要の事項が記載されている場合は、4.および5.の提出は不要です。
※封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書き、書留郵便にて入学部に提出してください。

提出期限

前期	中期	後期
12月1日(月)消印有効	1月7日(水)消印有効	1月16日(金)消印有効

※「個別の入学資格審査」の結果は、申請書類受領後2、3週間程度で申請者本人宛に文書で通知します。

書類提出先

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学入学部 個別審査担当

3. 入試スケジュール・会場

■リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群、航空学群3コース(航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース)

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースのスケジュール・会場はP. 28から確認してください。

選抜		インターネット出願			受験票 発行 開始日 ^{※4}	試験日・会場	合格 発表日 ⁵	入学手続 締切日 ^{※6}
		出願登録 ^{※1}	検定料 支払期限 ^{※2}	出願書類 提出期限 ^{※3}				
一般選抜	前期	1/7(水) ～ 1/27(火)	1/27(火)	1/27(火) 消印有効	1/27 (火)～	2/1(日) 2/2(月) 2/3(火) 2/4(水) 町田 キャンパス 2/3のみ 地区会場あり	2/9 (月)	【1次】 2/16(月) 【2次】 2/24(火)
	中期	2/3(火) ～ 2/18(水)	2/18(水)	2/18(水) 消印有効	2/19 (木)～	2/25(水) 町田 キャンパス	2/27 (金)	3/6(金) 一括納入
	後期	2/24(火) ～ 3/3(火)	3/3(火)	3/3(火) 消印有効	3/4(水) ～	3/10(火) 町田 キャンパス	3/12 (木)	3/16(月) 一括納入
大学入学 共通テスト 利用選抜	前期	1/7(水) ～ 1/16(金)	1/16(金)	1/16(金) 消印有効	1/27 (火)～	大学独自の 試験なし	2/9 (月)	【1次】 2/16(月) 【2次】 2/24(火)
	中期	1/19(月) ～ 2/18(水)	2/18(水)	2/18(水) 消印有効	2/19 (木)～		2/27 (金)	3/6(金) 一括納入
	後期	2/19(木) ～ 3/3(火)	3/3(火)	3/3(火) 消印有効	3/4(水) ～		3/12 (木)	3/16(月) 一括納入

※1 出願登録の最終日は正午(12時)までです。

※2 出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。

出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。

※3 出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間を十分確認の上、提出してください。

※4 15時から順次発行します。出願日時により、発行日が異なります。

試験日までメールにて発行通知が届きますので、メール受信までお待ちください。

※5 可否照会の確認は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知(振込用紙)が確認できます。

※6 前期日程のみ、1次手続(入学金)と2次手続(入学金以外の春学期納入金)に分かれています。

1次手続を期日までに行わなかった場合、その後の入学手続はできません。入学の意思がないものとみなします。

4. 募集人数

表内の数値:人数(名)

選抜方式			リベラル アーツ 学群	グローバル・ コミュニ ケーション 学群	ビジネス マネジメント 学群	健康福祉 学群※2	芸術文化 学群	教育探究科 学群	航空学群	
			人文領域 社会領域 自然領域	—	—	—	演劇・ダンス 専修 音楽専修 ビジュアル・ アーツ専修	—	航空管制 コース 航空機管理 コース 空港管理 コース	フライト・ オペレー ション (パイロット 養成) コース
一般 選抜 ※1	前期	4科目型	20	6	10	7	6	2	2	10
		3科目型	85	20	45	26	27	10	6	
		2科目型	85	20	45	25	27	10	7	
		合計	190	46	100	58	60	22	15	
	中期	3科目型	11	3	6	4	4	2	2	—
		2科目型	44	8	21	11	12	4	5	
		合計	55	11	27	15	16	6	7	
	後期	3科目型	5	2	3	2	2	1	1	—
		2科目型	20	5	11	7	7	1	2	
		合計	25	7	14	9	9	2	3	
大学 入学 共通 テスト 利用 選抜	前期	5科目型	11	3	10	5	5	1	3	10
		4科目型	6	2	5	3	3	1	1	
		3科目型	38	10	37	17	17	4	6	
		合計	55	15	52	25	25	6	10	
	中期	3科目型	3	2	3	2	2	1	1	—
		2科目型	14	5	11	6	5	1	2	
		合計	17	7	14	8	7	2	3	
	後期	3科目型	3	1	2	2	1	1	1	—
		2科目型	5	3	6	3	2	1	1	
		合計	8	4	8	5	3	2	2	

※1 一般選抜の科目型について

4科目型＝3科目型共テplus

3科目型＝3科目型(奨学生選抜を含む)および2科目型共テplus

2科目型＝2科目型および2科目パック

※2 健康福祉学群 保育学専攻の募集人員は、一般選抜前期・中期・後期で合わせて10人

5. 学群併願・検定料割引・英語「みなし点」・追加判定オプション

学群併願について(一般選抜)

同日の試験1つで複数の学群の判定をすることが可能です。併願しても**追加の検定料は発生しません(無料)**。

なお、出願登録完了後に、併願する学群を追加することはできません。

[合格発表] 出願した学群・領域・専修ごとに可否が発表されます。

[入学手続] 複数学群に合格した場合、希望順位の高い学群で入学手続をしてください。

入学手続後の変更はできません。

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースを受験する場合、学群併願はできません。

[リベラルアーツ学群の前期における併願について]

同日の試験で、同一学群内の領域を併願することができます。

複数の領域に出願しても検定料は別途かかりません。

	人文領域	社会領域	自然領域
【前期】文系方式	○	○	×
【前期】理系方式	○	○	○
【中期】	○	○	○
【後期】	○	○	○

※【中期】【後期】は全領域に出願可能です。

[健康福祉学群の前期における併願について]

試験日が異なれば、同一学群内の他の専攻に出願することができます。

【例】2月2日 社会福祉学専攻 + 2月4日 精神保健福祉学専攻 → ○

[芸術文化学群の併願について]

同日の試験1つで、同一学群内の第2志望の専修まで選択することができます。2つの専修に出願しても検定料は別途かかりません。選抜の結果、第1志望・第2志望ともに合格した場合、第1志望の専修に入学手続をしてください。

【例】2月3日 ビジュアル・アーツ専修(第1志望) + 2月3日 演劇・ダンス専修(第2志望) → ○

検定料割引制度**一般選抜**併願数に関わらず、**同一の試験日で一律35,000円**

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースは併願不可です。

大学入学共通テスト利用選抜**2学群まで16,000円**(3学群目以降は、1学群ごとに10,000円)**同一学群内で異なる科目型の併願は無料(英語重視型を含む)**

			判定される科目型			
			5科目型	4科目型	3科目型	2科目型
出願時に選択した科目型	前期	5科目型	○	○	○	—
		4科目型	—	○	○	—
		3科目型	—	—	○	—
	中期・後期	3科目型	—	—	○	○
		2科目型	—	—	—	○

※リベラルアーツ学群内で複数の領域を併願する場合、別途追加の検定料(1領域ごとに別途10,000円)が発生します。

※前期日程のリベラルアーツ学群 自然領域では、3科目型と3科目理数型のいずれも判定します。

※大学入学共通テスト利用選抜において航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースと他学群等を併願する場合は、検定料が以下の通り別途発生します。

・航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース

16,000円(異なる科目型の併願は無料)

・その他学群等(航空学群3コース含む)

上記コースを除き、2出願まで16,000円

(3出願目以降は、1出願ごとに10,000円。同一学群内で異なる科目型の併願は無料)

英語「みなし点」制度

本学指定の英語資格・検定試験の級やスコアを有している場合、みなし点として活用することができます。

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースは対象外です。

活用を希望する場合、インターネット出願時に、活用する英語資格・検定試験の級やスコアを申告してください。

一般選抜では、以下の2通りの判定方法のうち、いずれかをインターネット出願時に選択してください。

①英語の筆記試験を受験し、筆記試験の点数とみなし点のどちらか高得点の方を偏差値換算して判定する

②英語の筆記試験を受験せず、みなし点を偏差値換算して判定する

また、英語の筆記試験を受験しない②を選択した場合、出願時の検定料が35,000円から20,000円(15,000円減額)となります。

大学入学共通テスト利用選抜では、「みなし点」と「大学入学共通テストの得点」を偏差値換算し、高偏差値の方で判定します。みなし点のみでは判定できません。また、大学入学共通テストの英語を受験しなかった場合は合否判定不可となり、不合格となります。

【換算表】

対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験したものが有効です。

さらに出願締切日までに提出できる1種類かつ1回のものに限りです。

(異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません)

英語資格・検定試験		得点換算(みなし点)	
		100点	80点
実用英語技能検定 (英検)	従来型	準1級以上 または2304点以上	2級 または1980点～2303点
	英検S-CBT		
	英検S-Interview		
ケンブリッジ英語検定※1		160点以上	140点～159点
GTEC※2	「GTEC」CBTタイプ	1180点以上	930点～1179点
	「GTEC」検定版		
TOEIC® L&R※3		785点以上	550点～780点
TOEIC® L&RおよびS&W※3		1095点以上	790点～1090点
TOEFL iBT®※4		72点以上	42点～71点
IELTS™	アカデミック・モジュール	5.5以上	4.0～5.0
TEAP		309点以上	225点～308点
TEAP CBT		600点以上	420点～595点

※1 受験した各試験種別[ファースト(FCE)等]の合格・不合格は問わない(スコアのみを合否判定に採用)。Linguaskillは不可。

※2 4技能のオフィシャルスコアに限る。

※3 IP(Institutional Program)は不可。

※4 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。MyBest™ Scores、ITP(Institutional Testing Program)は不可。

※5 IELTS™は証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

追加判定オプション(2科目パック・共テプラス・英語重視型) ※追加検定料なし

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースはいずれのオプションも対象外です。

2科目パック(一般選抜)

前期の3科目型(文系方式および理系方式)は、受験する3科目のうち2科目を利用して、自動的に2科目型としても合否判定がされます。

合否判定には、受験した科目のうち高偏差値の科目を使用します(英語必須)。

ただし、リベラルアーツ学群の自然領域へ出願する場合は、「英語」と「数学」もしくは「英語」と「理科」での判定、ビジネスマネジメント学群へ出願する場合は、「英語」と「国語」での判定となります。

2科目パックは検定料は別途かかりませんが、2科目パックを利用して出願できるのは、一般選抜で3科目型として出願した学群に限ります。

※2科目パックと共テプラスを併用することも可能です。

共テプラス(一般選抜)

一般選抜(前期・中期・後期)では、大学入試センターが実施する大学入学共通テストの受験科目のうち、高偏差値科目(大学入学共通テスト指定科目)を1科目プラスして出願することができます。「3科目型の出願者は4科目型」として、「2科目型の出願者は3科目型」としても合否判定がされます。

共テプラスは検定料は別途かかりませんが、共テプラスを利用して出願できるのは、一般選抜で出願した学群に限ります。

一般選抜において受験した教科であっても、異なる科目であれば指定科目の対象となります。ただし、一部の選抜方式は対象外となりますので注意してください。

【対象となる一般選抜および大学入学共通テスト指定科目】

		一般選抜受験科目								「共テプラス」で追加できる大学入学共通テスト指定科目(いずれか1科目)					
		英語	国語	地理	世界史	日本史	政治・経済	数学	理科	国語	地理歴史 公民	数学	情報	理科※1	外国語
		—	—	—	—	—	—	—	—	近代以降 の文章	地理総合、地理探究 歴史総合、日本史探究 歴史総合、世界史探究 公共、倫理 公共、政治・経済 地理総合、歴史総合、公共	数学Ⅰ 数学Ⅰ、A 数学Ⅱ、B、C	情報Ⅰ	地理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎 物理 化学 生物 地学	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語
前期	文系 3科目型	●	●	● (いずれか1科目)				—	—	対象外	一部対象※2	対象	対象	対象	対象外
		●	●	—	—	—	—	●	—	対象外	対象	対象外	対象	対象	対象外
	文系 2科目型	●	●	—	—	—	—	—	—	対象外	対象	対象	対象	対象	対象外
	理系 3科目型	●	—	—	—	—	—	●	●	対象	対象	対象外	対象	一部対象※3	対象外
	理系 2科目型	●	—	—	—	—	—	—	●	対象	対象	対象	対象	一部対象※3	対象外
		●	—	—	—	—	—	●	—	対象	対象	対象外	対象	対象	対象外
中期・ 後期	2科目型 ※4	●	●	—	—	—	—	—	—	対象外	対象※4	対象※4	対象 ※4	対象※4	対象外

※1 基礎を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)は、2科目で1科目分とみなします。

※2 一般選抜で受験した教科であっても、異なる科目であれば指定科目の対象となります。同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

[例]一般選抜「日本史」+共テプラス「歴史総合、世界史探究」→○ 一般選抜「政治・経済」+共テプラス「公共、政治・経済」→×
一般選抜「生物」+共テプラス「生物基礎+物理基礎」→× 一般選抜「化学」+共テプラス「生物基礎+物理基礎」→○

※3 2月1日の理科は記述式となり、「物理」「化学」「生物」の分野から各3問(計9問)出題し、その中から3問自由選択となるので、大学入学共通テストの指定科目は「地学」のみが対象となります。2月3日は一般選抜で受験した教科であっても、異なる科目であれば指定科目の対象となります。

※4 リバラルアーツ学群自然領域の中期・後期日程においては、共テプラスは「数学」「理科」いずれか1科目のみ利用可能です。また、国語または英語のいずれか高偏差値の科目+共テプラス(「数学」「理科」いずれか1科目)の2科目型でも判定します。追加の検定料はかかりません。

英語重視型(一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜)

対象学群:リバラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、芸術文化学群、教育探究科学群

上記の対象学群を受験する場合、英語の判定偏差値換算点を2倍にし、他科目の判定偏差値との合計をもとに合否を自動的に判定します。

実際の活用例を CHECK

一般選抜で **2科目パック** **共テプラス** **英語重視型** を活用する場合

出願時	受験時	判定内容（数字は偏差値換算点の例）							
前期（2/1）に 文系3科目型で GC学群に出願 出願時に、以下 オプションの 活用を選択 共テプラス 英語重視型 2科目パック （自動で追加）	以下の 科目を受験 日本史 国語 英語	英語重視型							
		3科目型	3科目型 +共テプラス	2科目パック	2科目パック +共テプラス	3科目型	3科目型 +共テプラス	2科目パック	2科目パック +共テプラス
		50	50 高偏差値の 2科目 （英語必須）	55	55	50	50	55	55
		55	55	60	60	120 （60×2）	120 （60×2）	120 （60×2）	120 （60×2）
		60	60	60	60	+	+	+	+
		共通テストの「地理総合、地理探究」 + 57 （2科目パックで選ばれた2科目に対しても共テプラスを適用！） [NEW]							
偏差値換算点の平均		55	55.5	57.5	57.33	56.25	56.4	58.33	58
判定回数		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回

! 出願時には日程、学群、科目型を選び、各種オプションの活用有無を ☒ するだけ! その他、個人情報等の入力が必要です。

1日程で1学群を受験するだけで、**最大8回** 判定のチャンス
+同一試験日であれば、複数学群受験しても検定料は一律同額(FO除く)

➡ 35,000円で、**30出願以上** のチャンスを活かせる!

Ⅱ. 試験科目・出題範囲・時間割・共通テスト指定科目

1. 出題範囲(一般選抜)

教科・科目	出題範囲
英語	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」 「論理・表現Ⅰ」 「論理・表現Ⅱ」
国語	「現代の国語」 「言語文化(古典除く)」
地理	「地理探究」
世界史	「世界史探究」
日本史	「日本史探究」
政治・経済	「政治・経済」
理科	「物理基礎」「物理」 「化学基礎」「化学」 「生物基礎」「生物」
数学	「数学Ⅰ」 「数学Ⅱ」 「数学A(図形の性質・場合の数と確率)」 「数学B(数列)」

2. 一般選抜(前期・中期・後期)

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースの試験科目・時間割はP.28から確認してください。

【前期】文系方式 会場:町田キャンパス(2/3のみ地区会場あり)

学群 (併願可能)	試験日	科目型	1限		2限	3限	2科目 パック	共テ プラス	英語重 視型※1
			10:30~11:30		12:30~ 13:30	14:30~ 15:30			
LA(人文/社会) GC/BM 健福/芸文 教探/航空3	2/1(日)~ 2/4(水) から選択 (複数日程の 受験可能)	3科目型	選 択 ※2	地理/世界史/ 日本史/政治・ 経済	国語	英語	●	●	●
		2科目型		数学※3					
		2科目型	—		国語	英語	—	●	●

【前期】理系方式 会場:町田キャンパス(2/3のみ地区会場あり)

学群 (併願可能)	試験日	科目型	1限	2限	3限	2科目 パック	共テ プラス	英語重 視型※1
			10:30～11:30	12:30～ 13:30	14:30～ 15:30			
LA(人文/社会/ 自然) 教探/航空3	2/1(日)、 2/3(火) から選択 (複数日程の 受験可能)	3科目型	数学※3	理科※4	英語	●	●	●
	2/1(日)	2科目型	1限:数学※3 または 2限:理科※4 (出願時に選択・変更不可)		英語	—	●	●
	2/2(月)		数学※3	—	英語	—	●	●
	2/3(火)		1限:数学※3 または 2限:理科※4 (出願時に選択・変更不可)		英語	—	●	●
	2/4(水)		数学※3	—	英語	—	●	●

【前期】グローバル人材育成奨学生選抜 会場:町田キャンパス(2/3のみ地区会場あり)

学群 ※併願不可	試験日	科目型	1限		2限	3限	2科目 パック	共テ プラス	英語重 視型※1
			10:30~11:30		12:30~ 13:30	14:30~ 15:30			
LA(人文/社会) BM	2/1(日)、 2/3(火) から選択 (複数日程の 受験可能)	3科目型	選 択 ※2	地理/世界史/ 日本史/政治・ 経済	国語	英語	●※5	●※5	●※5
				数学※3					
LA(人文/社会/ 自然)			数学※3		理科※4	英語	●※5	●※5	●※5

【中期・後期】 会場:町田キャンパス

学群 (併願可能)	試験日	科目型	1限	2限	3限	2科目 パック	共テ プラス	英語重 視型※ ¹
			10:30~11:30	12:30~ 13:30	14:30~ 15:30			
LA(人文/社会/ 自然) GC/BM 健福/芸文 教探/航空3	中期 2/25(水)	2科目型	国語	英語	—	—	●※ ⁶	●
	後期 3/10(火)							

【学群名の凡例】

LA…リベラルアーツ学群、GC…グローバル・コミュニケーション学群、BM…ビジネスマネジメント学群
 健福…健康福祉学群、芸文…芸術文化学群、教探…教育探究科学群
 航空3…航空学群3コース(航空管制コース、整備管理コース、空港管理コース)

【注意事項】

- 各教科・科目の試験時間は60分、配点は100点となります(偏差値に換算して判定)。
- 2月1日の「数学」「理科」のみ記述式となり、その他すべての筆記試験はマークシート式の解答となります。
- 一般選抜において「英語リスニング」は実施しません。
- 筆記試験においてコンパス、三角定規等の使用はできません。
- 英語資格・検定試験を使った出願が可能です。詳細はP.13を確認してください。
- 「2科目パック」、「共テプラス」は1回の受験で可否の判定回数を増やすことができます。詳細はP.14を確認してください。
- 「グローバル人材育成奨学生選抜」はリベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群の募集になります。詳細はP.19を確認してください。

※1 「英語重視型」を利用できる学群はリベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、芸術文化学群、教育探究科学群になります。詳細はP.15を確認してください。

※2 地理、世界史、日本史、政治・経済、数学から1科目選択(出願時に地理／世界史／日本史／政治・経済または数学のどちらかを選択してください。なお、出願時に「地理／世界史／日本史／政治・経済」を選択した場合、いずれの科目を受験するかは当日選択できます)。出願後の選択内容の変更は認められません。

※3 数学は2月1日は記述式、2月2日・3日・4日はマーク式の解答となります。

※4 理科は2月1日は記述式、2月3日はマーク式の解答となります。また、2月1日は「物理(物理基礎・物理)」「化学(化学基礎・化学)」「生物(生物基礎・生物)」の分野から各3問(計9問)出題し、その中から3問自由選択となります。2月3日は「物理(物理基礎・物理)」「化学(化学基礎・化学)」「生物(生物基礎・生物)」の分野から1科目選択となります。

※5 3科目型の受験結果のみが奨学生選抜の対象となります。「2科目パック」、「共テプラス」、「英語重視型」での合格および、追加合格による合格は「奨学生の対象でない合格」となります。

※6 リベラルアーツ学群自然領域の中期・後期日程においては、共テプラスは「数学」「理科」いずれか1科目のみ利用可能です。また、国語または英語のいずれか高偏差値の科目＋共テプラス(「数学」「理科」いずれか1科目)の2科目型でも判定します。追加の検定料はかかりません。

3. 一般選抜(前期)グローバル人材育成奨学生選抜について

募集人員

リベラルアーツ学群:5人程度 ビジネスマネジメント学群:5人程度

※グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群および航空学群は本奨学金の対象外です。

本選抜方式の趣旨

本選抜方式は、桜美林大学の教育目標ならびに各学群が定める「養成する人材等」「アドミッションポリシー」を理解して、グローバルな社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学生選抜です。グローバル人材育成奨学生として合格し、本学での学修活動によって積極的に目標実現を図りたいという意欲のある者に対して、グローバル人材育成奨学金をもって、特別に支援するものです。

奨学金について

1. 奨学金(給付)

- (1)語学力向上支援金として各学期100,000円給付(3. 継続条件を満たした場合、修業年限内最大で4年間給付)
- (2)渡航支援費として留学出発後750,000円を給付(2. 奨学生的前提条件(2)の留学プログラムに参加することが給付条件)

2. 奨学生的前提条件

入学後、以下の(1)～(2)の2つのプログラムを必ず履修、参加することが本奨学金制度を受ける条件となります。また、以下の(3)～(9)の点について、必ず確認し、了解のうえ、出願してください。

- (1)1セメスター※から3セメスターまで大学が指定する語学プログラムを履修すること。
- (2)4セメスターと5セメスターに大学が指定する長期交換留学プログラム(英語圏)に参加すること。
- (3)留学に関する所定の事前・事後学習に参加すること。
- (4)グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群および航空学群は本奨学金制度の対象外です。
- (5)グローバル人材育成奨学生として入学した場合は、リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群のグローバル・アウトリーチプログラムには参加することができません。
- (6)ビジネスマネジメント学群に入学したグローバル人材育成奨学生は、各学群等で参加必須となっている留学プログラムではなく、前記(2)の留学プログラムに参加することになります。
- (7)本学で取得できる資格(主に国家資格にあたる教育職員免許状、公認心理師など)の取得を目指す教育課程を希望する場合、標準修業年限(4年間)内に卒業できない可能性があります。
- (8)グローバル人材育成奨学生の身分である期間は、原則休学は認められません。
- (9)奨学生の継続条件として、語学の技能審査(スコア)を求めますが、それにかかる費用は個人負担となります。

※セメスター:本学では半年間の学期ごとに授業を完結し、単位を修得するセメスター制度(2学期制)を採用しています。1年次春学期(1セメスター)、秋学期(2セメスター)、2年次春学期(3セメスター)、秋学期(4セメスター)、3年次春学期(5セメスター)、秋学期、(6セメスター)、4年次春学期(7セメスター)、秋学期(8セメスター)となります。

3. 継続条件

セメスターごと(留学期間を除く)に継続審査を行います。グローバル人材育成奨学生の継続条件は以下の通りです。

- (1)入学時からの通算GPA※が2.80以上であること。
※GPAとはGrade Point Averageの略称で成績評価を示します(最高値は4.00)。
- (2)セメスターごとに大学が定めた入学時からの累計修得単位数の基準を満たすこと。
- (3)所定の留学プログラム申請時(2セメスター)にTOEFL iBT®61点またはIELTS™5.5以上のスコアを取得すること。
- (4)3セメスター以降、大学が定めた英語スコアを取得すること(8セメスター終了時の目標スコアは、TOEFL iBT®89点、IELTS™6.5、TOEIC®L&R 800点)。
- (5)各セメスター終了時に、修学状況報告書を提出すること。

詳細は、グローバル人材育成奨学生選抜に合格後、書面にてお知らせします。

4. 他の奨学金との併給

- ・高等教育修学支援新制度等の学外の経済的支援制度との併給は可能です。
- ・年額100,000円以上の学内奨学金・学内奨励金との併給は不可です(ただし、学群奨学金、研究科奨学金および災害による緊急の支援金等はこの限りではありません)。

出願資格と選抜方式固有の出願条件

次の(1)、(2)の条件を満たす者。

(1) P.5(出願資格と選抜方式固有の出願条件)に該当する者で、かつP.19(奨学金について 2. 奨学生的前提条件)の(1)・(2)のプログラムに必ず履修、参加する意志がある者。

(2) 以下のいずれかの英語資格・検定試験のスコア・級を有する者。

いずれも対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験し取得した級・スコアが有効です。

① 実用英語技能検定 2級以上または1980点以上※¹

② ケンブリッジ英語検定 140点以上※²

③ GTEC 930点以上※³

④ TOEIC® L&R 550点以上※⁴

⑤ TOEIC® L&RおよびS&W 790点以上※⁴

⑥ TOEFL iBT® 42点以上※⁵

⑦ IELTS™ 4.0以上※⁶

⑧ TEAP 225点以上

⑨ TEAP CBT 420点以上

※¹ 「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。

※² 受験した各試験種別[ファースト(FCE)等]の合格・不合格は問わない(スコアを有する者)。Linguaskillは不可。

※³ 「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

※⁴ IP(Institutional Program)は不可。

※⁵ Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。MyBest™ Scores、ITP(Institutional Testing Program)は不可。

※⁶ IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア(アカデミック・モジュールに限る)。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

① 選抜方法

以下のいずれかの一般選抜に出願、受験してください。

・2月1日(日) 文系方式3科目型 または 理系方式3科目型

・2月3日(火) 文系方式3科目型 または 理系方式3科目型

なお、2月1日、2月3日の両日とも受験することも可能です。

一般選抜の成績上位者を本奨学生の対象とします。

英語資格・検定試験のみなし点活用をする場合、英語筆記試験の受験は任意(インターネット出願時に選択)です。筆記試験を受験しない場合、英語科目の得点はみなし点となります。

※筆記試験の会場は、町田キャンパスと地区会場(2月3日のみ)があります。

※リベラルアーツ学群自然領域出願の場合は理系方式3科目型のみとなります。

② 合格について

合格には「奨学生としての合格」「奨学生の対象でない合格」の2種類があります。いずれも入学手続きを行うか否かは任意です。

③ 留意点

(1) 本奨学生選抜は、【前期】文系方式および【前期】理系方式(複数の学群に出願)としての出願はできません。1つの学群のみの出願となります。

(2) 「2科目パック」や「共テプラス」、「英語重視型」での合格および、追加合格による合格は「奨学生の対象でない合格」となります。

4. 一般選抜(前期)地区会場一覧

会場名	住所
【札幌】ACU(アスティ45)	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45
【仙台】TKP仙台青葉通カンファレンスセンター	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-4-1 青葉通パークビルディング
【水戸】三の丸ホテル	〒310-0011 茨城県水戸市三の丸2-1-1
【千葉】ペリエホール	〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉1-1-1 ペリエ千葉
【新宿】桜美林大学 新宿キャンパス	〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1
【長野】ホテル信濃路	〒380-0936 長野県長野市中御所岡田町131-4
【静岡】静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)	〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1
【福岡】リファレンス大博多ビル貸会議室	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1
【那覇】沖縄県市町村自治会館	〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37

※地区会場の収容定員を超過した場合、それ以外の会場での受験となります。

5. 大学入学共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)

学群ごとの指定教科・科目数は、次のページ以降にある表から確認してください。

【学群名の凡例】

LA…リベラルアーツ学群、GC…グローバル・コミュニケーション学群、BM…ビジネスマネジメント学群
 健福…健康福祉学群、芸文…芸術文化学群、教探…教育探究科学群
 航空3…航空学群3コース(航空管制コース、整備管理コース、空港管理コース)

【注意事項】

- 大学入学共通テスト利用選抜は、過年度の成績利用はできません。
 - 「選択」について、指定科目数以上受験した場合は高偏差値の科目を可否判定に使用します。
 - 大学入学共通テスト利用選抜で、複数学群への出願が可能です。また一般選抜との併願も可能です。
- 【例】
- [大学入学共通テスト利用選抜前期リベラルアーツ学群(人文領域)]
 +[大学入学共通テスト利用選抜前期 航空学群]→ ○
- [大学入学共通テスト利用選抜中期 ビジネスマネジメント学群]
 +[一般選抜中期リベラルアーツ学群(人文領域)、ビジネスマネジメント学群]→ ○
- リベラルアーツ学群と芸術文化学群を除き、同じ学群内(専攻、専修、コース)の併願はできません。
 - リベラルアーツ学群では、同日程で同一学群内の他の領域を併願することができますが、合計2出願になります。それぞれの領域に必要な科目は次のページにある表で確認してください。
 - 健康福祉学群では、異なる日程であれば、同一学群内の他の専攻に出願することができます。また一般選抜との併願も可能です。
- 【例】
- [大学入学共通テスト利用選抜前期 社会福祉学専攻]
 +[大学入学共通テスト利用選抜後期 精神保健福祉学専攻]→ ○
- [大学入学共通テスト利用選抜前期 健康科学専攻]
 +[大学入学共通テスト利用選抜前期 保育学専攻]→ ×
- 芸術文化学群では、同日程で、同一学群内の第2志望の専修まで選択することができます。2つの専修に出願しても検定料は別途かかりません。選抜の結果、第1志望・第2志望ともに合格した場合、第1志望の専修に入学手続きをしてください。
- 【例】
- [大学入学共通テスト利用選抜後期 演劇・ダンス専修(第1志望)]
 +[大学入学共通テスト利用選抜後期 音楽専修(第2志望)]→ ○
- 大学入学共通テストの成績開示は本学では行いません。大学入学共通テストの成績開示希望者は、大学入学共通テスト出願時に申し込むこととなります。詳細は『令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内』(独立行政法人大学入試センター発行)を確認してください。

※1 「英語」受験者は必ず「英語リスニング」を受験してください。「英語」の「リーディング」は100点を80点に、「リスニング」は100点を20点に、その他の外国語は200点を100点に換算して判定します。

※2 「英語重視型」では、上記で算出された「英語」の偏差値換算点を2倍にして判定します。

※3 表内の「独・仏・中・韓」は「ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語」を指します。

※4 基礎を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)は、2科目で1科目分とみなします。

※5 「国語」は近代以降の文章の110点を100点に換算して判定します。

指定教科・科目数等(リベラルアーツ学群)

学群	科目型	日程			教科・科目・配点																		英語重視型 ※2				
		前期	中期	後期	外国語	国語	地理歴史・公民						情報	理科								数学					
																						①		②			
					英語 ※1	その他 ※3	近代以降の文章のみ ※5	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合、歴史総合、公共	情報Ⅰ	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学		数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C	
LA 人文領域・社会領域	5科目型	●	—	—	必須		選択4科目																		●		
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○		○	○
					100点		(400点)																				
	4科目型	●	—	—	必須		選択3科目																		●		
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○		○	○
					100点		(300点)																				
	3科目型	●	●	●	必須		選択2科目																		●		
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○		○	○
					100点		(200点)																				
	2科目型	—	●	●	必須		選択1科目																		●		
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○		○	○
					100点		(100点)																				
LA 自然領域	5科目型	●	—	—	必須		選択1科目								必須1科目						●	必須	必須				
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	●	●		●	●	●	●		
					100点		(100点)								100点							100点	100点				
	4科目型	●	—	—	必須										必須1科目						●	必須	必須				
					●	独・仏・中・韓									※4	※4	※4	※4	●	●		●	●	●	●		
					100点										100点							100点	100点				
	3科目型	●	●	●	必須		選択1科目														必須1科目						
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	●	●	●	●	●
					100点		(100点)														200点換算						
	3科目理数型	●	●	●	必須										必須1科目						必須1科目						
					●	独・仏・中・韓									※4	※4	※4	※4	●	●	●	●	●	●	●		
					100点										100点						100点						
2科目型	—	●	●	必須																必須1科目							
				●	独・仏・中・韓															●	●	●	●	●	●	●	●
				100点																100点							

指定教科・科目数等(グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群)

学群	科目型	日程			教科・科目・配点																				英語重視型 ※2	
		前期	中期	後期	外国語		国語	地理歴史・公民						情報	理科								数学			
																							①	②		
					英語 ※1	その他 ※3	近代以降の文章のみ ※5	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合、歴史総合、公共	情報Ⅰ	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A		数学Ⅱ、数学B、数学C
G C	5科目型	●	—	—	必須		必須	選択3科目															●			
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○
					100点		100点	(300点)																		
	4科目型	●	—	—	必須		必須	選択2科目															●			
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○
					100点		100点	(200点)																		
	3科目型	●	●	●	必須		選択2科目															●				
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○		○	○	○	○
					100点		(200点)																			
	2科目型	—	●	●	必須		選択1科目															●				
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○		○	○	○	○
					100点		(100点)																			
B M	5科目型	●	—	—	必須		必須	選択3科目															—			
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○
					100点		100点	(300点)																		
	4科目型	●	—	—	必須		必須	選択2科目															—			
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○
					100点		100点	(200点)																		
	3科目型	●	●	●	必須		必須	選択1科目															—			
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○
					100点		100点	(100点)																		
	2科目型	—	●	●	必須		必須																—			
					●	独・仏・中・韓	●																			
					100点		100点																			

指定教科・科目数等(健康福祉学群、芸術文化学群)

学群	科目型	日程			教科・科目・配点																								英語重視型 ※2
		前期	中期	後期	外国語		国語	地理歴史・公民						情報	理科								数学						
					英語 ※1	その他 ※3	近代以降の文章のみ ※5	地理総合、地理探究	歴史総合、世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合、歴史総合、公共	情報Ⅰ	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	①		②					
																						数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C					
健福	5科目型	●	—	—	必須		必須	選択3科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(300点)																					
	4科目型	●	—	—	必須		必須	選択2科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(200点)																					
	3科目型	●	●	●	必須		必須	選択1科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(100点)																					
	2科目型	—	●	●	必須		選択1科目																			●			
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○		○		
					100点		(100点)																						
芸文	5科目型	●	—	—	必須		必須	選択3科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(300点)																					
	4科目型	●	—	—	必須		必須	選択2科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(200点)																					
	3科目型	●	●	●	必須		必須	選択1科目																			●		
					●	独・仏・中・韓	●	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	○	○	○	○			
					100点		100点	(100点)																					
	2科目型	—	●	●	必須		必須																				●		
					●	独・仏・中・韓	●																						
					100点		100点																						

指定教科・科目数等(教育探究科学群、航空学群3コース)

学群	科目型	日程			教科・科目・配点																			英語重視型 ※2								
		前期	中期	後期	外国語		国語	地理歴史・公民						情報	理科								数学									
																							①		②							
					英語 ※1	その他 ※3		近代以降の文章のみ ※5	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済		地理総合、歴史総合、公共	情報Ⅰ	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物		地学	数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C				
教 探	5科目型	●	—	—	必須		選択4科目																	●								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○					
					100点		(400点)																									
	4科目型	●	—	—	必須		選択3科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○		○	○	○					
					100点		(300点)																									
	3科目型	●	●	●	必須		選択2科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○		○	○	○	○				
					100点		(200点)																									
	2科目型	—	●	●	必須		選択1科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○		○	○	○	○	○			
					100点		(100点)																									
航 空 3	5科目型	●	—	—	必須		選択4科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○		○	○	○	○	○	○		
					100点		(400点)																									
	4科目型	●	—	—	必須		選択3科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4		○	○	○	○	○	○	○	
					100点		(300点)																									
	3科目型	●	●	●	必須		選択2科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4		※4	○	○	○	○	○	○	○
					100点		(200点)																									
	2科目型	—	●	●	必須		選択1科目																	—								
					●	独・仏・中・韓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
					100点		(100点)																									

「地理歴史・公民」における2科目受験する場合の科目選択方法について

2科目選択の 組み合わせ		「地理総合、 地理探究」	「歴史総合、 日本史探究」	「歴史総合、 世界史探究」	「地理総合、歴史総合、公共」			「公共、 倫理」	「公共、 政治・経済」
					「地理総合」 および 「歴史総合」	「地理総合」 および 「公共」	「歴史総合」 および 「公共」		
「地理総合、 地理探究」			○	○	×	×	○	○	○
「歴史総合、 日本史探究」		○		○	×	○	×	○	○
「歴史総合、 世界史探究」		○			×	○	×	○	○
「地理総合、 歴史総合、 公共」	「地理総合」 および 「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 および 「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 および 「公共」	○	×	×				×	×
「公共、倫理」		○	○	○	○	×	×		×
「公共、政治・経済」		○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組み合わせから選択でき、「×」の組み合わせは選択できません。

6. 航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースの選抜情報

出願資格と選抜方式固有の出願条件

P.5(Ⅰ. 2出願資格と選抜方式固有の出願条件)に該当する者。

なお、高等学校等卒業までに「数学Ⅱ」、「物理基礎」や「物理」の単位を修得していることが望ましい。

① 出願期間等の日程

項目		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜
指定医療機関での受診期限		5/1(木)～12/16(火) (詳細および指定医療機関の情報はP.7参照)	
インターネット 出願	出願登録※1	1/7(水)～1/27(火)	1/7(水)～1/16(金)
	検定料支払期限※2	1/27(火)	1/16(金)
	出願書類提出期限※3	1/27(火) 消印有効	1/16(金) 消印有効
1次審査	1次受験票 発行開始日※4	1/27(火)～	1/27(火)～
	1次審査日・会場	2/1(日) 2/2(月) 2/3(火) 2/4(水) 町田キャンパス 2/3のみ地区会場あり	大学独自の試験なし
	1次合格発表日	2/9(月)10時	
	2次審査費 振込期間	2/9(月)～ 2/13(金) 振込先はP.35参照	
2次審査	2次受験票 発行開始日※5	2/20(金)	
	2次審査日・会場	2/25(水)、2/26(木)のうち 本学が指定する1日間 (いかなる理由でも日時の指定変更は一切できません) 多摩キャンパス(多摩アカデミーヒルズ)	
	2次合格発表日※6	3/12(木)	
	入学手続締切日 (入学金+春学期納入金)	3/16(月) 一括納入	

※1 出願登録の最終日は正午(12時)までです。

※2 出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。

出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。

※3 出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間を十分確認の上、提出してください。

※4 1次受験票は15時から順次発行します。出願日時により、発行日が異なります。

試験日までメールにて発行通知が届きますので、メール受信までお待ちください。

※5 2次受験票は15時から順次発行します。2次審査の集合時間等は、改めて「受験票」を発行・印刷し、確認してください。

※6 可否照会の確認は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知(振込用紙)が確認できます。

②選抜方法(一般選抜)

一般選抜	選抜方法・審査方法								
1次審査	一般選抜の筆記試験結果および書類審査による総合判定 ●筆記試験 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">3科目型(すべて受験必須)</th></tr> <tr> <td>「数学」100点^{※1}</td><td>10:30～11:30(60分)</td></tr> <tr> <td>「国語」100点</td><td>12:30～13:30(60分)</td></tr> <tr> <td>「英語」100点</td><td>14:30～15:30(60分)</td></tr> </table> ・偏差値に換算して判定します。 ・同一日程における他学群との併願受験はできません。 ・英語「みなし点」、「2科目パック」、「共テプラス」、「英語重視型」の活用対象外です。	3科目型(すべて受験必須)		「数学」100点 ^{※1}	10:30～11:30(60分)	「国語」100点	12:30～13:30(60分)	「英語」100点	14:30～15:30(60分)
3科目型(すべて受験必須)									
「数学」100点 ^{※1}	10:30～11:30(60分)								
「国語」100点	12:30～13:30(60分)								
「英語」100点	14:30～15:30(60分)								
2次審査	○書類審査 出願書類に基づき審査 ○適性検査^{※2} ○面接 日本語および英語にてそれぞれ実施								

※1 数学は2月1日のみ記述式、2月2日・3日・4日はマーク式の解答となります。

※2 2次審査では面接と飛行適性検査を含む適性検査を行いますので、ご自身の判断でふさわしい服装を着用してください。

③選抜方法(大学入学共通テスト利用選抜)

大学入学 共通テスト利用選抜	選抜方法・審査方法
1次審査	大学入学共通テストの成績結果および書類審査による総合判定 ○大学入学共通テスト成績結果 5科目型:500点／ 4科目型:400点／ 3科目型:300点 ・偏差値に換算して判定します。 ・指定教科・科目の詳細は次のページから確認してください。
2次審査	○書類審査 出願書類に基づき審査 ○適性検査[※] ○面接 日本語および英語にてそれぞれ実施

※ 2次審査では面接と飛行適性検査を含む適性検査を行いますので、ご自身の判断でふさわしい服装を着用してください。

指定教科・科目数等(航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース)

学群	科目型	日程			教科・科目・配点																				英語重視型 ※2	
		前期	中期	後期	外国語		国語	地理歴史・公民						情報	理科								数学			
																							①	②		
					英語 ※1	その他 ※3		近代以降の文章のみ ※5	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	公共、倫理	公共、政治・経済		地理総合、歴史総合、公共	情報Ⅰ	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学		数学Ⅰ
航空FO	5科目型	●	—	—	必須		選択3科目															必須1科目				
					●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	●	●	●	
					100点		(300点)															100点				
	4科目型	●	—	—	必須		選択2科目															必須1科目				
					●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	●	●	●	
					100点		(200点)															100点				
	3科目型	●	—	—	必須		選択1科目															必須1科目				
					●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※4	※4	※4	※4	○	○	○	○	●	●	●
					100点		(100点)															100点				

※1「英語」受験者は必ず「英語リスニング」を受験してください。「英語」の「リーディング」は100点を80点に、「リスニング」は100点を20点に、その他の外国語は200点を100点に換算して判定します。

※2「英語重視型」では、上記で算出された「英語」の偏差値換算点を2倍にして判定します(FOコースは対象外)。

※3 表内の「独・仏・中・韓」は「ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語」を指します(FOコースは英語必須)。

※4 基礎を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)は、2科目で1科目分とみなします。

※5「国語」は近代以降の文章の110点を100点に換算して判定します。

④複数出願時の2次審査について

一般選抜と大学入学共通テスト利用選抜の複数の選抜を受験し、1次審査に複数合格した場合でも、2次審査の受験および合否判定は1回のみとなります。

複数の選抜で合格した場合、2次審査における受験番号の優先順位は以下①～⑤となります。

- ①一般選抜(2月1日)
- ②一般選抜(2月2日)
- ③一般選抜(2月3日)
- ④一般選抜(2月4日)
- ⑤大学入学共通テスト利用選抜

⑤航空学群内の併願について

フライト・オペレーション(パイロット養成)コースに出願した場合、希望者には1次審査の筆記試験の偏差値をもって、航空学群3コースの合否も判定します。出願時に選択してください。

Ⅲ. 出願手続

1. 出願書類

- 必要書類を任意の角2(角2号)封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.3(出願から入学手続までの流れ)を確認してください。
- 各日程(前期・中期・後期)ならびに複数の学群に出願する場合や、追加で各日程に出願する場合、『高等学校等の調査書等』、『大学入学共通テストの成績請求票』、『英語資格・検定試験の証明書』を改めて提出する必要はありません。各書類1通を提出してください。
- 実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、TOEICについてはデジタル公式認定証の印刷提出も可。
- 複数の日程・学群等に出願(登録)しても、請求票は1通です(前・中・後期共通)。時期の異なる選抜に追加で出願(登録)する場合でも、改めて請求票を提出する必要はありません。

原本/コピー/ データ	書類名	様式 番号	注意事項
データ	顔写真データ	—	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG(拡張子「.jpg」「.jpeg」とPNG(拡張子「.png」) ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可。 ・<u>(※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真(紙)は必要ありません。)</u>
原本 【厳封】	高等学校等の 調査書等	—	・出願初日から3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください(コピー可)。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者(旧大学入学資格検定含む)は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」(合格証明書ではありません)を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業(見込み)の者は、「卒業(見込み)証明書(Diploma)」、「成績証明書」を提出してください。(日本語、英語表記以外のものには日本語訳を添付すること:任意様式) ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・調査書を取得できない場合は、次の3つの書類を提出してください。 ①『調査書が高校で発行できない旨が明記された文書』②「卒業証明書」③「単位修得証明書」(①～③は出願初日から6ヶ月以内に発行したもの)
原本	令和8年度 大学入学共通テストに 伴う成績請求票	—	・貼付する用紙はありませんので、そのまま封筒に入れてください。 ・本書類のみ提出する場合も、角2封筒にて郵送してください。 ・一般選抜のうち「共テプラス」で出願する場合、または大学入学共通テスト利用選抜で出願する場合に提出が必要です。 ・提出がない場合は大学入試センターに成績の請求ができないため、合否判定を行えません。
コピー	英語資格・検定試験の 証明書(A4サイズ)	—	・一般選抜の「グローバル人材育成奨学生選抜」に出願する場合、提出が必要です。 ・英語資格・検定試験を活用して、一般選抜および大学入学共通テスト利用選抜における英語科目の得点換算を希望する者は提出が必要です。複数の選抜・学群等に出願(登録)しても、英語資格・検定試験の結果を変更しない限り、証明書は1通です(前・中・後期共通)。

<航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースの出願者は以下を追加提出>

原本/コピー /データ	書類名	様式 番号	注意事項
原本	志願者経歴書	1	
コピー	航空身体検査	10	航空身体検査指定機関(航空身体検査 指定医療機関一覧参照)で検査し、「第一種相当」の証明を受けてください。 ・医療機関での受診および診断結果を受け取るまでに時間を要するため、受診の予約は早めに行ってください。 ・2025年5月1日以降に受診したものが有効となります。 ・様式の1ページ目は事前に記入し、受診時に医療機関に提出してください(2ページ目は医療機関記入欄です)。 ・出願書類提出時は、1ページ目、2ページ目ともにコピーをし、提出してください。
コピー	出願条件を満たす 語学資格等の証明書	—	・学群が出願条件として定めている英語資格・検定試験の資格証明書コピーを必ず提出してください。 ・その他、諸資格を取得している場合も提出してください。書類審査の参考資料として取り扱います。

<外国籍(日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く)の出願者は以下を追加提出>

原本/コピー /データ	書類名	様式 番号	注意事項
原本	経費支弁書	12	「永住者」「定住者」は提出不要。その他の資格(「留学」、「家族滞在」等)は要提出。
原本	住民票の写し	—	在留資格が記載されているもの。コピー不可(個人番号(マイナンバー)記載不要) <u>(※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。)</u>

2. 出願上の注意事項

●出願後に、以下を変更することはできません。

志望学群ならびに選抜方式(全学群)、領域(リベラルアーツ学群)、言語トラック(グローバル・コミュニケーション学群)、専攻(健康福祉学群)、専修(芸術文化学群)、コース(航空学群)。

出願時に間違いがないことを必ず確認してください。

●一度郵送された書類および納入された検定料は、原則として返還しません。

ただし、以下のケースに該当する場合は、検定料に限り返金にかかる手数料を差し引いた金額を返還します。選抜ごとに定められた期限までに手続きを行う必要があります。

①検定料を支払ったが、出願期間内に書類を郵送しなかった

②検定料を支払い、書類を提出したが、書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が完了しなかった

[検定料返還の手続き方法]

対象者には受験票発行開始日以降、インターネット出願サイトの「マイページ」に「検定料返還申請」ボタンが表示されます(受験票発行開始日から1週間程度かかることがあります)。

検定料返還の手続きをする方は、「マイページ」の諸注意事項をよく読み、以下の申請期限までに手続きを行ってください。申請期限後の申し出については返還しません。

[検定料返還申請期限]

総合型選抜(第1回)	2025年10月2日(木)
総合型選抜(航空学群フライト・オペレーションコース)	2025年10月2日(木)
総合型選抜(第2回)	2025年11月21日(金)
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜(第1回)	2025年11月21日(金)
学校推薦型選抜(指定校制・公募制)	2025年12月5日(金)
指定校制学校推薦型選抜(航空学群フライト・オペレーションコース)	2025年12月25日(金)
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、学校推薦型選抜(指定校制)(第2回)、総合型選抜(第3回)	2026年1月2日(金)
一般選抜(前期)、大学共通テスト利用選抜(前期)	2026年2月10日(火)
一般選抜(中期)、大学共通テスト利用選抜(中期)	2026年3月5日(木)
一般選抜(後期)、大学共通テスト利用選抜(後期)、総合型選抜(第4回)	2026年3月18日(水)

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても検定料の返還はできません。

[検定料の返還時期]

検定料返還申請完了後、約1ヵ月でご指定の金融機関へ振り込みます。検定料返還の時期や日程の指定にはお答えできません。

各学群における注意事項

リベラルアーツ学群の領域選択について

出願の際に「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択してください。

入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。

(出願時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります)。

※一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜では領域を併願受験できます。複数の領域に合格した際は、希望する領域で入学手続きを行ってください。

※卒業時のメジャー(主専攻)とマイナー(副専攻)は、入学時に選択する領域と異なるものであっても問題ありません。

※出願時に選択した領域によって学校推薦型選抜における課題図書や、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における受験科目等が異なります。詳細は各募集要項を確認してください。なお、出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。

※インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

※編入学者選抜で3年次編入を志望する者は、人文領域・社会領域・自然領域の3つの領域から希望する領域を1つ選択し、あわせて希望するメジャー(主専攻)とマイナー(副専攻)をすべてのプログラム(統合領域含む)から選択してください。なお、メジャーとマイナーは異なる領域から1つずつ選択してください。また、メジャーとマイナーは必ずしも出願時に選択する領域から選ぶ必要はありません。入学時に選択した領域は入学後に変更できません。メジャーとマイナーは入学後に変更することが可能です。

※3年次編入学者の専攻演習(ゼミ)または探究サービスラーニングの選択は入学後となりますが、必ずしも希望する教員の専攻演習または探究サービスラーニングが履修できるとは限りません。

グローバル・コミュニケーション学群の希望の言語について

グローバル・コミュニケーション学群では、「英語」「中国語」「日本語」「韓国語」の4つの言語を学ぶことができます。

出願時には、以下の表から「言語トラック」を1つ選択してください。入学後は、選択した言語を集中的に学修します。

「パブリック・リレーションズ専修」「言語探究専修」「文化共創専修」のいずれかの専修は、2年次を選びます。

選抜	「言語トラック」(いずれか1つを選択)	入学後の学修言語
・総合型選抜 ・学校推薦型選抜 ・一般選抜 ・大学入学共通テスト利用選抜 ・社会人選抜	1.英語トラック 2.中国語トラック 3.日本語トラック 4.トリリンガルトラック(韓国語+英語) 5.トリリンガルトラック(韓国語+中国語)	出願時に選択した言語を1年次の必修語学科目として学びます。 ※トリリンガルトラックの場合、1年次に韓国語、2年次に英語または中国語(出願時に選択した言語)を必修語学科目として学びます(韓国語だけを選択することはできません)。
・国際学生選抜 ・編入学者選抜	1.英語トラック 2.中国語トラック 3.日本語トラック ※出願時にトリリンガルトラックを選択できません。	

※第1言語(母語)の「言語トラック」は選択できません。第1言語(母語)とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

例)日本語が第1言語(母語)の場合、「日本語トラック」は選択できません。

ビジネスマネジメント学群の領域とプログラム選択について

ビジネスマネジメント学群の各領域は、ビジネスマネジメント学群として一括募集となります。エアラインビジネス領域のゼミ履修とエアラインホスピタリティ留学の希望者は、1年次秋学期以降に行われる選抜に合格する必要があります。

健康福祉学群の専攻選択について

健康福祉学群は、出願の際に「健康科学専攻」「スポーツ科学専攻」「社会福祉学専攻」「精神保健福祉学専攻」「実践心理学専攻」「保育学専攻」から専攻を選択します。

芸術文化学群の専修選択について

芸術文化学群は、出願の際に「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」から専修を選択します。

航空学群3コース(航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース)について

航空学群3コースは、出願の際に、入学後に学修を希望するコースを選択する欄がありますので、現時点で学修を希望するコースを選択してください。この選択は選抜の可否には一切関係しません。

2年次からのコース選抜については1年次終了までに行われる希望調査の結果に原則従いますが、希望するコースに極端な偏りがあった場合、審査を行い、その結果により、所属コースが決定します。

3. 検定料およびフライト・オペレーションコースの2次審査費

検定料について

一般選抜

併願数に関わらず、**同一の試験日で一律35,000円**

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースは併願不可です。

大学入学共通テスト利用選抜

2学群まで16,000円(3学群目以降は、1学群ごとに10,000円)

同一学群内で異なる科目型の併願は無料

※航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースと他学群等を併願する場合は、検定料が以下の通り別途発生します。

- ・航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース
16,000円(異なる科目型の併願は無料)
- ・その他学群等(航空学群3コース含む)
上記コースを除き、2出願まで16,000円
(3出願目以降は、1出願ごとに10,000円。同一学群内で異なる科目型の併願は無料)

実際にかかる検定料は出願内容に基づきます。金額は出願時に「出願サイト」内で確認してください。

検定料の支払いは、インターネット出願時に以下の支払い方法から選択してください。なお、検定料のほかに事務手数料が別途かかります。

①指定のコンビニエンスストアでの支払い

②クレジットカード払い

※一度納入された検定料は返還できません。

フライト・オペレーション(パイロット養成)コース 2次審査費について

1次審査の合格者は、2次審査受験のための2次審査費(35,000円)を振込期間内に振り込んでください。

本校指定の振込用紙はありません。

振り込みは銀行備え付けの用紙を使用し窓口で支払うか、機械(ATM)、インターネットバンキングにより振り込んでください。

振込先	三井住友銀行 町田支店 普通 6964363 (ガク)オウビリンガクエン
振込金額	35,000円
振込人氏名	受験番号 カナ氏名(例:12345678オウビリントウ) ※カナ氏名の前に受験番号8桁を必ず付けてください。 ※一般・大学入学共通テスト利用選抜で複数に1次審査合格となった場合は、優先順位が最も高い受験番号を1つのみ記入してください。 (P.30(Ⅱ. 5. ④複数出願時の2次審査について)を参照)
振込期間	2月9日(月)～ 2月13日(金)期限厳守

※2次審査費は、コンビニエンスストア、クレジットカードでのお支払いはできません。

【注意事項】

- 期間内に振り込みがない場合、2次審査を辞退したものとみなします。
- 振込締切日後、指定日時より2次審査の「受験票」を発行します。受験票の発行開始日は、各選抜の「出願期間等の日程」を確認してください。

4. 受験時および就学時に特別な配慮や支援が必要な方

受験時および就学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。事前相談を希望される方は、受験生サイト(本学 Webサイト)より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し以下の提出期限までに桜美林大学入学部へメールまたは郵送するようにしてください。書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。

提出期限

前期	中期	後期
12月1日(月)消印有効	1月7日(水)消印有効	1月16日(金)消印有効

事前相談がない場合や、提出期限を過ぎてから申請書を提出された場合は、受験時の配慮の対応ができないことがあります。また、事前相談なく受験して、合格・入学後に配慮・支援の申し出があった場合、申し出をした学期には、配慮・支援の対応ができないことがあります。特性によって、入学後に卒業要件にかかわる授業の履修が困難になり、卒業が難しくなる可能性もありますので、配慮・支援を希望される場合は必ず事前に相談してください。

提出先

メール:d_support@obirin.ac.jp

郵送:〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 入学部

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター(TEL:042-797-1583 平日9時~17時)まで連絡してください。冬期一斉休暇期間(12月27日~1月6日)は問い合わせ対応はしていません。時間に余裕をもって問い合わせをしてください。

IV. 試験当日

1. 受験票

インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行日時以降、順次発行します。

一般選抜

「受験票」はインターネット出願サイトの「マイページ」印刷ボタンより印刷し、試験当日に提示できるように準備してください(A4サイズ推奨)。

また、集合時間等の詳細は受験票で確認してください。

大学入学共通テスト利用選抜

「受験票」が発行できているか、インターネット出願サイトの「マイページ」より必ず確認をしてください。

2. 試験当日の注意事項

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- 試験当日は会場スタッフの誘導・指示に従ってください。
- 集合時間までに予め指定された控室もしくは試験室に入り、指定された座席に着席してください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしますので、十分注意してください。
- 筆記試験は集合時間から50分以上経過した場合は原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、受験票に記載されている電話番号に連絡をし、担当者の指示に従ってください。
- 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは黒鉛筆(H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ、シャープペンシル(メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ 類は不可。)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの。)です。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。なお、筆記用具の貸し出しは行いません。
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具においては、試験時間中の使用は禁止です。
- 筆記試験当日の服装は自由ですが、メーカー名・ロゴ以外の英語表記や地図等がプリントされた服装は避けてください。
- 座布団やひざ掛けの使用は、事前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。英語表記や地図等がプリントされているものは使用できません。
- 試験当日、試験場付近や下車駅で下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学とは一切関係がないので注意してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

- ①入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹等)に罹患し完治・治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ②上記感染症等により、一般選抜の当初出願した試験の受験を見送る場合、試験の振り替えを認めます(下記【一般選抜の振替特例措置について】を確認してください)。振替特例措置には本学が指定する期間における医師の診断書が必要となります。

一般選抜の振替特例措置について

具体的な振替日程は以下の通りとなります。

一般選抜(前期)→ 一般選抜(中期)もしくは一般選抜(後期)

一般選抜(中期)→ 一般選抜(後期)

一般選抜(後期)→ 振替無し(振替できる日程がないため、検定料を返還します)

※一般選抜(前期)の出願において複数日の出願を行った場合、一般選抜(中期)と一般選抜(後期)の両日に振り替え、受験することができます。検定料の追加徴収は行いませんが、検定料の返還もありません。

※一般選抜(前期)の出願において3日程以上の出願をした場合でも、振替特例措置として利用できる日程は一般選抜(中期)と一般選抜(後期)の2日程です。

※一般選抜(中期)・(後期)における試験科目は英語・国語の2科目となります。

V. 合否照会・入学手続

1. 合否照会・合格通知・振込用紙

- インターネット出願サイトの「マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックしてください。
合否結果が表示されます。
合否については、上記の方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでの問い合わせには、一切回答できません。
- 合否照会は合格発表日の午前10時より確認できます。
- 「合格通知(振込用紙)」は合格者のみ、合格発表日の13時より印刷できます。
インターネット出願サイトの「マイページ」にログインして印刷し、入学手続き(学納金の納入)をしてください。
合格通知(振込用紙)の郵送はしませんので、注意してください。

2. 追加合格・成績開示について

追加合格について

追加合格とは、正規合格者の入学手続状況により追加としての合格が認められるものです。追加合格候補者とは、合格発表時に追加合格候補者であることを通知された者です。

追加合格になった者にのみ、【マイページ(Web)】もしくは【電話】どちらかの方法により以下の通り連絡いたします(同時に両方の方法による連絡はいたしません)。

詳しくは追加合格候補者に対して詳細な通知を「マイページ」上でお知らせしますので必ず確認してください。

日程		対象選抜
第1回	2026年2月27日(金)	前期
第2回	2026年3月3日(火)	前期
第3回	2026年3月11日(水)	前期・中期
第4回	2026年3月17日(火)	前期・中期・後期
第5回	2026年3月24日(火)	前期・中期・後期
第6回	2026年3月27日(金)	前期・中期・後期
第7回	2026年3月31日(火)	前期・中期・後期

一般選抜成績情報の開示について

一般選抜についてWebを利用した成績(本人の受けた科目の得点)の照会が可能です。

希望者は受験生サイト(本学Webサイト)内の[オンライン成績開示]より成績照会用Webサイトにログインし、成績を確認してください。

- 桜美林大学受験生サイト <http://admissions.obirin.ac.jp>
 - ・利用期間は、2026年5月7日(木)～5月21日(木)です。
 - ・成績照会には、「受験番号(8桁)」、「生年月日(8桁)」、インターネット出願で登録した出願者住所の「郵便番号」が必要となりますので、事前に確認してください。
 - ・事前の申し込み等は必要ありません。
 - ・電話、メール等による成績に関する問い合わせには一切回答できません。

3. 入学手続等(学納金の納入について)

- 「合格通知」とともに表示される学納金の振込用紙をインターネット出願サイトの「マイページ」より印刷してください。合格発表日の13時より「合格通知(振込用紙)」が印刷可能になります。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。合格通知(振込用紙)の郵送はしませんので、注意してください。
ゆうちょ銀行、ATM、インターネットバンキング等による振り込みは、受験番号の入力漏れ等により本人確認ができないことがあるため、注意してください。やむを得ず利用される場合は、「受験番号」と「受験生氏名(カタカナ)」を振込依頼人欄に必ず入力してください。また、個別の入金確認等は行っておりませんので、領収書等が必要な場合は銀行窓口を利用してください。また、本学窓口では取り扱いできません。
- 期限内に前項の納入がない場合は、入学の意志がないものとみなします。また、期限後の振込はいかなる理由でも一切受け付けません。
- 大学より「入学関係書類」の案内メールを受信したら「マイページ」へログインをして、書類を確認してください。該当者全員へ一斉に案内を行いますので、入学手続を早く完了しても早く案内が届くことはありません。案内までには時間を要します。「メール受信時期」に関する問い合わせには応じかねます。
- 「入学関係書類」記載の期日までに必ず卒業証明書を提出してください。既卒者等は、「入学関係書類」の内容に従って書類を提出してください。

入学辞退について

学納金の納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合はインターネット出願サイトの「マイページ」より所定の手続を行い、受理された場合、入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はできません。

[返還の対象となる選抜]

総合型選抜(併願)、公募制学校推薦型選抜(併願推薦)、国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

[入学辞退申請期限]

2026年3月31日(火)15:00までにインターネット出願サイトの「マイページ」で手続きを完了してください。

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受領および学納金の返還はできません。

※入学辞退の申請を完了した場合はいかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

[学納金の返還時期]

入学辞退申請完了後、約1ヶ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

4. 入学後の渡航に関する注意事項

航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コースは、米国での飛行訓練が行われます。外国籍の方のビザ(M1ビザ)取得の可否に関しては、事前に必ず「米国大使館又は領事館」までお問い合わせください。

5. 学納金

2026年度入学者学納金一覧

【全学群共通の注意事項】

- 教職課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。
- 履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

<リベラルアーツ学群>

項目	春学期					秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

<グローバル・コミュニケーション学群>

項目	春学期						秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計		
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円	
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円	
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円	
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円	

※2年次に実施する1学期間の海外留学が原則必須です。留学にかかる費用は別途必要です。

※日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意です。

<ビジネスマネジメント学群>

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※エアライン・ホスピタリティ留学にかかる費用は別途必要です。

※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

<健康福祉学群>

項目	春学期						秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計		
1年次	150,000円	542,000円	25,000円	150,000円	—	867,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,584,000円	
2年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円	
3年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円	
4年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	50,000円	767,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,484,000円	

<芸術文化学群>

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	582,000円	25,000円	150,000円	—	907,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,664,000円
2年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
3年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
4年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	50,000円	807,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,564,000円

<教育探究科学群>

項目	春学期						秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計		
1年次	150,000円	515,000円	25,000円	150,000円	—	840,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,530,000円	
2年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円	
3年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円	
4年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	50,000円	740,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,430,000円	

<航空学群 航空管制コース 航空機管理コース 空港管理コース>

項目	春学期						秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計		
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	150,000円	—	952,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,754,000円	
2年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円	
3年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円	
4年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	50,000円	852,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,654,000円	

※航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コースは別途海外研修費用として約2,100,000円が必要となります。なお、物価や為替レートの変動等により費用が変更になる場合があります。

<航空学群 フライト・オペレーション(パイロット養成)コース>

項目	春学期						秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費・ 実験実習費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	授業料	教育充実 費	施設設備費・実 験実習費	納入金合計		
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	750,000円	—	1,552,000円	627,000円	25,000円	750,000円	1,402,000円	2,954,000円	
2年次	—	627,000円	25,000円	750,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	750,000円	1,402,000円	2,804,000円	
3年次	—	627,000円	25,000円	750,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	750,000円	1,402,000円	2,804,000円	
4年次	—	627,000円	25,000円	750,000円	50,000円	1,452,000円	627,000円	25,000円	750,000円	1,402,000円	2,854,000円	

※上記のほか、FAA・JCABライセンス取得のための訓練費が必要となります。

〈参考〉2025年の訓練費:19,000,000円

米国への渡航前に訓練費の一部を原則一括で納入していただきます。なお、飛行訓練費等は、物価、航空燃料費上昇、為替レートの変動やカリキュラム編成の変更等により変更になる場合があります。また、訓練の個人の進捗状況により追加費用が発生する場合があります。

・FAA(Federal Aviation Administration):米国連邦航空局

・JCAB(Japan Civil Aviation Bureau):国土交通省航空局

※訓練地や飛行訓練内容は変更となる場合があります。

VI. その他

1. アドミッションポリシー・選抜方法

桜美林学園のミッション

桜美林学園の使命は、キリスト教主義に基づく人間教育を通して、神、人間及び社会のために貢献する人間を育成することです。それは、どのような環境の中にあっても、常に未来に希望を持ち、他者の痛みを理解できる人間でなければなりません。また、現代社会の多様な価値観に対応でき且つ創造力と判断力に富んだ人間を育てることです。

桜美林大学の教育目標

桜美林大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、専門学芸の研究と教育を行い、キリスト教精神に基づいた教養豊かな識見の高い国際的人材を育成することを目的としています。

各学群の養成する人材等

リベラルアーツ学群は、広範な知識と深い専門性に裏付けられた思考力、分析力、柔軟な発想力を身につけた人間性豊かな人材の養成等を目的として、総合的教養及び専門的基礎学術に係る教育等を行う。

芸術文化学群は、パフォーミング・アーツ及びビジュアル・アーツの分野を幅広く追求し、アートの専門家として社会に通用するスキルを身につけた人材の養成等を目的として、総合的文化教育(芸術系分野)に係る教育等を行う。

ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類は、国際社会で必要なビジネス感覚を養い、広範な知識から発想し、意思決定の行える、新しい経営マインドを備えた人材の養成等を目的として、幅広い職業人養成に係る教育等を行う。

健康福祉学群は、専門領域における確かな知識・技術を身につけ、人々の願い、悩み、喜びに共感できる、感性豊かな人間性をそなえた健康と福祉のエキスパートの養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行う。

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類は、語学に長け、コミュニケーション能力が高く、分析や創造を伴う思考力と問題解決に向けた計画力や実行力を有する人材の養成等を目的とし、協働活動を通してグローバルリーダーシップの基礎基本を修養できる教育等を行う。

航空学群航空学類は、卓越した英語力を有し、工学等の学問分野に裏打ちされた専門性の高い確かな知識と航空の基礎となる必須の知識と技術を併せ持った航空の分野で活躍する人材の養成を目的とした教育等を行う。

教育探究科学群教育探究科学類は、教育学の豊かな知見に基づき、人間的かつ社会的な諸課題を学術的探究方法によって解決できる知識及び技能を修得し、人や組織の成長のためにリーダーシップを発揮できる人材の養成を目的とした教育等を行う。

学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

■リベラルアーツ学群

リベラルアーツ学群は、多文化理解を推し進め、一つの専門性だけにとらわれない学際的思考を駆使し、優れた分析・表現力をもって学問を通じた社会貢献を行う、国際性を有した「自立した学習者」(Independent Learner)を育成していきます。また、興味・関心や社会文化的背景の異なる多様な学生が集い、学び、知的刺激を与え合える教育の機会を提供します。そのため、本学群の学びは、幅広い学問に触れると同時に、本人の関心に応じて人文学、社会科学、自然科学のいずれかをより深く学び、拠って立つ足場、すなわち学問的基礎を修得することからはじまります。学生は、学問的基礎の修得を続けて各分野の専門性を深め、分析・表現力を養うと同時に、他の専門分野に対する理解や専門横断的な知見、俯瞰的な視野をあわせもち、一つの専門の枠にとらわれない自由な学際的思考を身につけていきます。加えて、学生は、留学やサービスラーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い、国際性や多様な文化を理解する力、学問を通じた社会貢献ができる力を身につけます。以上の学修や経験を通して、未来を予測することが困難な時代の中で生きる力を養います。

【求める学生像】

学群の教育システムに共感し、学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 広い分野の基礎的学力を持ち、人文学、社会科学、自然科学の領域・専門分野への強い関心を有する者
- (4) 新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。

GC学群では、その基礎となる高度な外国語運用能力を修得し、グローバル化した社会で増えている多文化が共存するコミュニティをよりよく機能させるために必要な専門知識を学びます。真の多文化共生社会を実現する過程で直面する問題や課題に対し、多角的な視野と専門知識をもとに思考と分析を行い、言語の壁を超えた高いコミュニケーション能力を生かして、コミュニティにおいて欠かせない存在として、課題解決に向け、共同作業の中で自己の役割を堅実に果たせる人材を育成します。

【求める学生像】

学群の教育理念に共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域、背景を問わず求めます。

また、ここでの学びを始めようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者(特に外国語運用能力)
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 世界の国・地域および自国に対して強い関心を有する者
- (4) グローバル社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有し、多文化共生実現に強い関心と意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ビジネスマネジメント学群

「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1)高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2)自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3)社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者
- (4)社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- (5)建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■健康福祉学群

少子高齢社会や多様で高度な福祉ニーズに対応できる、健康と福祉のプロフェッショナル育成を目的としています。専門職として活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまらず、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。

グローバル社会においては、多様性の尊重は基本理念であり、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性を備え、様々な立場の人を理解し、受け入れ、共生社会の実現に貢献する実践家であることが期待されます。

そこで、学群に、「健康・スポーツ領域」「福祉・心理領域」「保育領域」の3つの学問領域、6つの専攻(健康科学・スポーツ科学・社会福祉学・精神保健福祉学・実践心理学・保育学)を配置し、マイナープログラムと併せて、自らが興味関心を抱いた専門的な学びを深めるとともに、関連領域にも学びを発展させます。

4年間の学生生活では、知識・理解を深める学びにとどまらず、体験的・実践的な学びを積み重ねることにより、社会の課題を解決する実践力を身につけます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1)高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2)自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3)人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者
- (4)社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- (5)建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■芸術文化学群

芸術の創り手として作品やパフォーマンスを提供する人材のみならず、幅広い芸術活動を通じて社会の発展に寄与する人材は、人間文明の初期から現在まで変わらずに必要不可欠な存在です。特に時代の変換点に立つ現代社会では、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤を通して、そのプロセスに潜在する「予測困難な問題」を見つけ出し、さらにはその問題を解決に導くことの出来る人材が必要とされています。

本学群では、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」というそれぞれの領域において、人間の営みと密接な関わりを持つこのような芸術文化を理解し、その理論や歴史、表現を学ぶことで社会を構成する自分自身と多様な他者をより深く探求して共に生きる力を身につけようとする学生を求めます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者
- (3) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (4) 芸術、文化、人間、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■教育探究科学群

本学群は、ディプロマ・ポリシーへの到達によって、生涯を通じて営まれる種々の教育的活動を通じ、自らの探究心と好奇心をもとに社会を改善していく者の育成を目指しています。卒業後に所属する組織や企業においては、教育学的指向と探究科学の手法を活かし、人、物事、アイデア、組織などをつなぐ共創型のファシリテーション機能を持つことを期待されています。

授業においては、自らの探究心や好奇心に基づく意思決定の機会が多く、また、「学びあい、教えあい」のコンセプトのもと、自らが学ぶだけでなく、他者に教えることによって学んでいくため、自他の成長への関心を持っている必要があります。

【求める学生像】

本学群は、学群の価値観や文化に共感する者を求めており、その選抜においては、以下の資質や能力をはかります。

- (1) 関心意欲が高く、色々な物事に興味関心を持てる好奇心を有する者
- (2) 主体的に学習に取り組む態度を有する者
- (3) 「学びあい、教えあい」のコンセプトや、自他の成長や変化への関心を有する者
- (4) 教育的活動を通じ、社会を良くしたいという意欲を有する者
- (5) 探究的な学びへの関心を有する者

■航空学群

本学群は、「航空機の操縦」、「航空管制」、「航空機の整備管理」、「空港の運営」等、航空の各分野で活躍できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。これらの分野で活躍するためには、航空工学、種々の法規程類を理解し、かつ高い語学運用能力を兼ね備える必要があります。さらに、経済、経営にも関心を持ち幅広く横断的な知識と高度な専門知識と技量を習得し、豊かなマネジメント能力が求められます。航空業界ひいてはグローバル社会に貢献できる人材を育成していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者(特に、外国語運用能力と数理科学に関する基礎的な知識・技能)
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自律心を有する者
- (3) グローバルな社会の出来事、航空業界、国や地域、関連する産業界等の取り組みに強い関心を有する者
- (4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

選抜方法

■リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群、航空学群 3コース(航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース)

〔一般選抜〕

それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力(知識・技能)」だけでなく、高等学校時代の学びや活動を通して身につけた「思考力・判断力・表現力」を本学が独自に作成する筆記試験により評価します。なお、各教科・科目の出題範囲は、学群の特長により科目の組み合わせ(方式)が異なります。

〔大学入学共通テスト利用選抜〕

それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力(知識・技能)」を大学入学共通テストの結果を通じて評価します。なお、指定各教科・科目等については、学群により異なります。

■航空学群フライト・オペレーション(パイロット養成)コース

〔一般選抜〕

1次審査では本学群での教育を受けるために必要な「基礎学力(知識・技能)」だけでなく、高等学校時代の学びや活動を通して身につけた「思考力・判断力・表現力」を本学が独自に作成する筆記試験により評価します。なお、試験教科は、英語・国語・数学の3つとなります。

2次審査では面接、適性検査を行い、それぞれの適性を評価します。

〔大学入学共通テスト利用選抜〕

1次審査では、本学群での教育を受けるために必要な「基礎学力(知識・技能)」を大学入学共通テスト試験の結果を通じて評価します。

2次審査では面接、適性検査を行い、それぞれの適性を評価します。

2. 奨学金制度

本学には、学生の経済的基盤を整え、学業継続の機会を保障するために、以下のような奨学金制度があります。制度の詳細は受験生サイトで確認してください。(奨学生の推薦、選考は学力および家計状況等を基に行います)

1. 入学後に申込可能な奨学金

〈全学群対象〉

●学而事人奨学金 募集人数各学年最大6人

学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由で学業継続が困難な学生に対して授業料45%の減免支援を行います。

※高等教育修学支援新制度との併用はできません。

※航空学群フライト・オペレーションコースは本奨学金の対象外です。

※その他の校内奨学金との併給はできません(ただし、学群奨学金、研究科奨学金および災害による緊急の支援金等はこの限りではありません)。

●学業優秀者奨学金 募集人数69人(2～4年次生)／給付

学士課程2～4年次生が対象で、在学中の学業成績が特に優秀な学生に対して、各学年23人、1人につき20万円を給付します。他の校内奨学金との併給はできません。

●独立行政法人日本学生支援機構奨学金／給付・貸与

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難な学生を対象とした、学生本人名義の奨学金です。

●地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集は大学を通じて行うものと各団体が直接行うものがあります。大学に募集案内があった場合は、学内掲示板にてお知らせします。

●文部科学省外国人留学生学習奨励費

留学ビザの学生を対象に文部科学省が実施する奨学金制度です。
月額48,000円で、受給期間は1年間もしくは半年です。

〈フライト・オペレーション(パイロット養成)コースのみ対象〉

●操縦士養成奨学金／給付

本学が定める家計基準(JASSO(日本学生支援機構)の貸与奨学金の第一種の世帯収入・所得上限相当)および成績基準等に基づき、該当する受給希望者に対して、2年次秋学期以降の学納金から60万円ずつを5セメスターに分けて減免します。(合計300万円、最大10名)

●(一社)航空機操縦士育英会「未来のパイロット」奨学金／貸与

貸与額:500万円を2年次に納入する訓練費から減免します。(最大5名)

※本奨学金希望者は、**入学前の審査**があります(入学後の応募は不可)。

詳細は2025年10月以降に本学ホームページよりご確認ください。

2. 提携教育ローン制度

●桜美林大学提携教育ローン

①オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」

株式会社オリエントコーポレーション提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

②ジャックスの教育ローン

株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

③三井住友銀行提携教育ローン

三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

●日本政策金融公庫(国の教育ローン)

国が行っている入学金・学納金等を立て替え払いとする融資制度です。

3. 高等教育修学支援新制度(本学は同制度の対象校として認定を受けています)

進学意欲がありながらも、経済的理由で進学が困難な学生へ、給付奨学金と授業料減免の支援が受けられる制度です。同制度の支援要件や選考基準等詳細については、学生課にお問い合わせください。

なお、高等教育修学支援新制度の採用候補者であっても各入学者選抜における入学手続きに伴う学納金は、入学手続締切日までに全額納付してください。入学後、所定の手続きを完了し、採用決定者であることが確認できた者に対し、減免金額を還付します。

■ 奨学金制度等についての問い合わせ先

●学務部学生課

(TEL:042-797-3128 メール:shogaku@obirin.ac.jp 平日/9:00~17:00)

●フライト・オペレーション(パイロット養成)コース在籍学生のみ対象奨学金は多摩キャンパス(多摩アカデミーヒルズ)事務室までお問い合わせください。

(TEL:042-356-6522平日/9:00~17:00)

※文部科学省外国人留学生学習奨励費は、国際交流センターまでお問合せください。

(TEL:042-797-5419 Email:inbound@obirin.ac.jp 平日/9:00~17:00)

3. 個人情報の取扱いについて

出願および入学手続きにあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続きおよびこれらに付随する事項を行うために利用します。また、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、指定した業者に対して提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、本学における入学者選抜および教育改善のための調査に利用します。

4. 入学後に主に通うキャンパスについて

学群	入学後に主に通うキャンパス
リベラルアーツ学群	町田キャンパス
グローバル・コミュニケーション学群	町田キャンパス
ビジネスマネジメント学群	新宿キャンパス
健康福祉学群	町田キャンパス
芸術文化学群	東京ひなたやまキャンパス
教育探究科学群	プラネット淵野辺キャンパス(PFC)
航空学群	多摩キャンパス(多摩アカデミーヒルズ)

[様式1]

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志願者経歴書

志望学群名	領域、専攻、専修、言語、コース	グローバル・コミュニケーション学群の志望者は、入学後に学修を希望する言語トラックを1つ選択してください。
学群		英語 中国語 日本語 トリリンガル（韓国語・英語） トリリンガル（韓国語・中国語）

※卒業見込の場合は出願時の在学期間と在学年数を記入。学校所在地は都道府県名、国外の場合は国、州省名を記入。
高等学校入学以降を記入してください。
外国の高等学校出身者、国際学生選抜志願者は小学校入学以降を記入してください。

学校名	所在地	在学期間（西暦）	在学年数
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月
		年 月～ 年 月	年 か月

高等学校卒業後の学歴（大学・予備校・語学学校・各種専門学校等）や職歴・兵役等を記してください。

学校名または勤務先	所在地	期間（西暦）	内容
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	
		年 月～ 年 月	

外国の高等学校出身者は日本語の学習歴（高等学校等の課程や独習を含む）を記入してください。

学校名	1 週間の修学時間	レベル
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上
	時間／週	初 ・ 中 ・ 上

【様式10】

(航空学群 フライト・オペレーション
(パイロット養成) コースのみ)

(※大学使用欄) 受験番号:

フリガナ	
氏名 (NAME)	

桜美林大学 航空身体検査

年 月 日

1 氏名										2 住所 郵便番号																
3 本籍 (外国人にあっては国籍)					4 生年月日					5 年齢		6 性別		7 総飛行時間					8 過去6月間の総飛行時間							
					年			月		日				男 女												
9 既往歴等 各項目毎に該当の有無を○印で記入すること。																										
病名等					有		無		病名等					有		無		病名等					有		無	
糖尿病									直腸・肛門の疾患 (痔等)									てんかん又は痙攣 (けいれん)								
内分泌及び代謝の疾患 (高脂血症、高尿酸血症等)									肝臓・胆道系の疾患									失神等の意識障害								
アレルギー疾患 (喘息・花粉症等)									腎臓・泌尿器・生殖器の疾患									頻繁又は強度の頭痛								
日中の過度な眠気又はいびきの指摘									関節、背部又は腰部の痛み									目の疾患								
呼吸器・肺の疾患									外傷									耳鼻咽喉の疾患								
胸痛、胸部圧迫感又は動悸									精神又は神経系の疾患									ふらつき又はめまい								
心臓の疾患									頭部外傷又は脳震盪 (のうしんとう)									治療を要する乗物酔い								
高血圧									自殺未遂									その他治療を要する疾患								
胃腸の疾患									薬物・アルコール依存																	
10 該当するものがあればできるだけ詳細に記入すること (部位、原因、時期等)。																										
					有		無		詳 細																	
入院又は手術																										
航空事故又はその他の事故																										
航空身体検査不適合又は国土交通大臣による判定の結果等																										
現在常用している医薬品 (外用・睡眠薬を含む)																										
その他の参考事項																										

私は、この申請書の記載事項が、私の知り得る限り、真正であることを誓います。

申請者署名

年 月 日

11 検査開始年月日										12 身長 cm					13 体重 Kg					14 BMI					15 尿検査				16 血圧 mmHg																																																		
																									蛋白		糖		収縮期			拡張期																																															
17 遠見視力																									18 中距離視力																																																						
裸眼視力										矯正視力										常用眼鏡 屈折度					右					左					矯正																																												
右										・					両眼					右					・					両眼					右					・					両眼					適合					不適合					適合					不適合					有					無				
左										・					両眼					左					・					両眼					左					・					両眼																																		
19 近見視力										20 両眼視機能															21 視野					22 色覚																																																	
										矯正					斜視					不同視										輻湊近点mm					右					左																																							
右										・					有					無					有					無					有					深視力					□ 二杵					無					距離					正常					異常					正常					異常				
左										・																				mm					□ 三杵																																												
23 純音聴力															24 聴力										25 眼圧 mmHg																																																						
															後方2m																																																																
右															適合										不適合										年										月					日					右					左																			
左																																			検査年月日																																												
26 安静時心電図検査										27 胸部エックス線検査										28 脳波検査																																																											
										年					月					日					正常					異常															年					月					日					正常					異常														
検査年月日										検査年月日										検査年月日																																																											
29 検診所見 各項目毎に正常・異常の所見を○印で記入するとともに、異常の所見については「30 医師記入欄」に詳細に記入すること。																																																																															
病名等										有					無					病名等										有					無					病名等										有					無																								
頭部、顔面及び頸部																				脊柱、筋及び骨格																				外耳・中耳（聴力は23-24項に記載）																																							
呼吸器又は胸部（乳房を除く）																				皮膚又はリンパ系																				鼓膜（穿孔等）																																							
心臓（心音・心雑音・不整脈等）																				精神系（行動、気分、コミュニケーション、記憶等）																				鼻、副鼻腔及び咽喉頭																																							
脈管系（左右差、脈拍数等）																				神経系（脳神経、腱反射、平衡機能、感覚、協調運動等）																				口腔及び歯牙																																							
腹部（ヘルニアを含む）																				眼（視力視野等は17項から22項までに記載）																				全身状態																																							
腎・泌尿器・生殖器官																				眼球連動（共同運動、眼振等）																				その他																																							
上下肢（筋力・可動域等）																																																																															
30 医師記入欄																				桜美林大学より指定医療機関への連絡欄																																																											
☐ 航空業務に支障をきたすような特記事項なし																				左記30 医師記入欄の該当する項目にチェック（レ点）をしてください																																																											
☐ 第1種基準においても適合																				また、注意項目がある場合は詳細を空白にご記入ください。																																																											
☐ 注意項目有り																																																																															
本書類は、桜美林大学受験においてのみ使用可である。																																																																															
31 適否の別																																																																															
☐ 第1種基準において適合																																																																															
☐ 第1種基準において不適合																																																																															
32 不適合の理由																																																																															
33 証明に付した条件															34 航空身体検査指定機関の名称及び代表者氏名															35 指定航空身体検査医の氏名																																																	
															印															印																																																	
															航空身体検査指定機関指定番号															航空身体検査医指定番号																																																	

[様式12]

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

経費支弁書

桜美林大学長 殿

【申請者】

氏名: _____

国籍: _____ 生年月日: _____年 _____月 _____日

【経費支弁者】

住所: 〒 _____

氏名: _____ 英字氏名: _____

申請者との関係: _____ 電話番号: _____

記入日: (西暦) _____年 _____月 _____日

私は、このたび上記申請者が日本国に入国した際および貴大学在学中の経費支弁者になりましたので、以下の通り経費支弁を引き受けた経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

1. 経費支弁を引き受けた経緯

（申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記載してください。）

2. 経費支弁内容

私は、申請者の日本国滞在について、以下のとおり経費を支弁することを証明します。また、申請者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

経費の支弁方法等（合計金額が1年間の学納金等を十分賄える金額となるように記入してください。）

支出元および月平均支弁額 ※該当する項目の□に✓を入れてください。	支弁方法
☐ 申請者 () 円	
☐ 経費支弁者 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ その他 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ 奨学金 () 円	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
(奨学金受給機関名) ※該当する項目の□に✓を入れてください。	
☐ 外国政府 ☐ 日本国政府 ☐ 地方公共団体 ()	
☐ 公益社団法人または公益財団法人 () ☐ その他 ()	